

楽しく学べるアイデア集

【1】プレゼントはなに？

⇒ EXERCISES II

*クリスマスや、その月生まれの生徒たちの誕生会など、実際に贈り物をする機会があれば、もらった包みを開ける前に、包みの形などから、中身を当てるゲームをする。

- ①だれがだれにプレゼントをあげるかは、くじ引きにし、あげる側の生徒は、「わたしは ~さん／くん に プレゼントを あげます。」と言って相手に渡す。
- ②教師は、見ている他の生徒たちに、「~さん／くんは 何を もらいましたか。」と聞き、生徒たちは、包みの形や様子から、「ノート を もらいました」とか、「ペン を もらいました」などのように、中身を言い当てる。
- ③生徒たちの答えが出揃ったタイミングで、もらった生徒が包みを開けて「ノート を もらいました！」と中身をみんなに公表する。

【2】まわるまわるゲーム

⇒ EXERCISES II・III

- ① 生徒たちが輪になる(人数が多い場合は、いくつかのグループごとに輪になる)。一人がボールを持って、「~さん／くん に あげます。」と言いながら、隣の生徒に渡す。受けた生徒は、「~さん／くん に もらいました。」と言う。このようにして、次々に隣の生徒にボールを送っていく。
- ② 一周したら、ノート、ペン、本、雑誌、ぼうしなど、既習の語彙で言える物を、全員に配り、①と同様に、次々に隣の生徒に送っていく。このとき、「~さん／くん に N を あげます。」「~さん／くん に N を もらいました。」の文型を言う。一斉に、どんどん隣に送っていくことで練習量が増えるが、教師は生徒全員の発話に注意深く耳を傾けて確認する必要がある。

*一斉にするときは、輪ではなく、自分がほしい物を持っている生徒のところに行って、物々交換をする設定で、自由に移動しながら、行う方法もある。自分の持っている物に人気が集まった場合、その生徒は、「~さん／くん に N を あげます。」「~さん／くん に N を もらいます。」と言って、だれの持ち物と交換するかを明言する。